

9月2日(日)開催

「夜、人が狼に姿を変えてしまう作品はいくつかありますが、この作品では：ガオーツー！なんと虎になっちゃうのです！」

思わず身を乗り出してしまいそうな引き込まれる語りで『李陵・山月記・弟子・名人伝』(中島敦／著 角川文庫)を紹介してくれたのは、はるばる静岡から来てくださったバトラーさん。広く知られている作品だからこそ改めて読んで欲しい、と熱く話してくださいました。

つづいて職員2名が紹介したのは『かわいいmizutama文房具。毎日がちよっと楽しくなるー』(mizutama／著 G.B.)と『武士道シックスティーン』(誉田哲也／著 文藝春秋)です。色とりどりにアレンジされた文房具の写真を見ているだけでも楽しめる一冊と、剣道に打ち込む少女たちが織り成す青春小説：今回も魅力的な本がたくさん紹介紹介されましたが、「もう一度読みたい」と参加者に強く思わせてくれた『李陵・山月記・弟子・名人伝』がチャンプ本に輝きました。(生盛)

ニッポンの③

文化探訪

11月は、日本の伝統工芸品を国内外に広めようと誕生した月間であることをご存知ですか？生活の中から姿を消しつつあった伝統工芸品を守ろうと、昭和49年に「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」が制定されました。その法律の10周年の節目である昭和59年に「伝統的工芸品月間」が定められ、日本各地で伝統工芸品の魅力を広める催しが行われています。

『職人気質をひとつ』は、そんな職人技のひかる工芸品をひとつひとつ丁寧に紹介しています。ゆかたや下駄といった私たちに馴染みのある工芸品の他にも、楊枝入れや水切りといった生活感あふれるものも、職人の方の試行錯誤を経て作られているそうです。中でも楊枝入れは、かつて日本の家庭で家具の材料として使われていた木材である紫檀で作られており、手にするとほっとくつろげる手触りがするそうです。かつて生活の中にあつた温かみを感じることもできる伝統工芸品。この機会にその魅力を再確認してみませんか？

(白藤)



やよい TOPIX 本と出会う。

②

トイカメラのレッスン
街の人気写真店ポパイカメラが教える
ポパイカメラ／監修 河出書房新社



こんな本もありますよ

『小暮写真館』

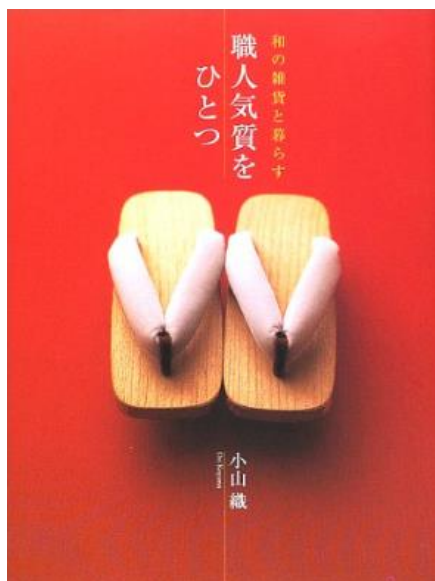
宮部みゆき／著 講談社

『まほうのカメラ』

木曾秀夫／作・絵 フレーベル館

③

『職人気質をひとつ』
小山織／著 日本放送出版協会



④

『お気に入りのはぎれで作る布絵手紙』
きくちいま／著 河出書房新社



読書の窓

②

11月30日は「カメラの日」。1977年のこの日、世界初のオートフォーカス機能を内蔵したコンパクトカメラ・通称「ジャスピコンニカ」が小西六写真工業(後のコニカ)から発売されました。今では当たり前のように使われているオートフォーカス機能ですが、発売当時は革新的な技術であり、爆発的にヒットした商品でした。

誰でも手軽にきれいな写真を撮れるようになった今、あえて低画質で、独特の雰囲気を楽しむカメラがあるのをご存知ですか？『トイカメラのレッスン』は、レトロなデザインと、味のある写真が撮れることが魅力であるトイカメラの使い方や、おすすめの機種・フィルムの選び方などをやさしく解説した本です。実際に撮影した写真もたくさん掲載されており、見るだけでもその面白さが伝わってきます。

最近では、カメラは持たずにスマートフォンで写真を撮る人も多いかと思いますが、フィルムで撮影して、現像をされるのをワクワクしながら待つ楽しさも良いものだなと思います。

(松野)

再生館

④

こちらのコーナーでは、あだち再生館のおすすめ講座と、講座に関する本を紹介します。

11月のおすすめ講座は、リサイクル体験講座「楽しく布絵『柿』」です。

今回紹介する本は『お気に入りのはぎれで作る布絵手紙』です。余り布でも、とても素敵な絵はがきにできあがります。実物大の型紙つきなので、絵の苦手な方も大丈夫！飾ったり送ったり、楽しんでみて下さい。

リサイクル体験講座「楽しく布絵『柿』」

■日時：11/25(日)午後1時～3時

■対象：区内在住・在勤・在学の方

■内容：はがきの上に余り布を貼り合わせて柿の絵柄を描き、オリジナルの絵はがきを作る

■定員：10名(抽選・当選者のみハガキで通知)

■費用：500円(材料費込)

■持物：はがき(無地のもの)1枚、手拭きタオル

■申込：電話・窓口または住所、氏名(フリガナ)、電話番号、「楽しく布絵『柿』」をハガキ・ファックスで送付

■期限：11/18(日)必着

■場所・問い合わせ先：

あだち再生館(月曜日、祝日休館)

〒120-0011 中央本町2-9-1

TEL：3880-9800 FAX：3880-9801